

スポーツ基本計画部会（第 5 期）関係団体ヒアリング 書面回答様式

全国町村会

「第 4 期スポーツ基本計画」に期待する点について、下記のとおり意見を申し上げますとともに、各町村における地域スポーツの推進状況や課題の一例として、愛媛県伊方町における取組状況・成果、課題について紹介する。

1. 部活動の地域展開の充実及び支援

生涯にわたりスポーツに触れる機会を確保するためには、幼少期から青年期における切れ目のないスポーツ機会の提供が重要。特に部活動の地域展開等は、スポーツ体験の機会として大きな役割を果たすと期待される。

一方で、町村部では、受け皿となる指導者や団体の確保及び活動に必要な財源の確保が喫緊の課題となっている。地域の実態に応じた部活動改革が着実に実施されるよう、国による安定的かつ継続的な財政支援を求める。

2. スポーツ環境整備に対する支援

第 3 期スポーツ基本計画における、スポーツを「する・みる・ささえる」、スポーツを「あつまり、ともに行い、つながりを感じる」、スポーツに「誰もがアクセスできる」を達成するためには、地域の特性を踏まえた対応が必要となる。

離島や中山間地域、へき地等の小規模自治体においては、特に専門人材の確保や施設整備に苦慮していることから、財政支援をはじめ、好事例のさらなる展開など、必要な支援を求める。

3. スポーツ推進事業の自走化に向けた支援

第 3 期スポーツ基本計画に引き続き、少子高齢化、地域間格差などの社会課題解決の一方策として、スポーツの多面的な効果を活用する施策推進が求められる。「運動・スポーツ習慣化促進事業」や「スポーツによる地域活性化・まちづくり担い手育成総合支援事業」等の国からの補助事業について、取り組んだ自治体の事業が継続・自立できるよう、成功事例の共有や横展開、および事業の担い手となる人材の育成・確保に関する伴走的な支援を求める。

スポーツ基本計画部会（第5期）関係団体ヒアリング 書面回答様式

愛媛県伊方町教育委員会生涯学習課

1. 団体において取り組まれているスポーツ振興に向けた取組状況・成果

(1) 体力づくりの推進

小学生については、日常的に体を動かす機会の減少や、基本的生活習慣の乱れによる体力運動能力の低下が今日の課題となっていることから、体力づくり活動の推進に取り組んでいる。

中学校では現在、全員部活動制を取っており、運動部活動の実施率は高く、体力運動能力は比較的高い。一方で生徒数の減少により既存の部活動の存続が難しくなっていることから、様々な施策に着手している。また、指導内容の高度化、専門化が課題となっていることから、指導力の向上を図る研修会を実施するなど運動部活動の充実に取り組んでいる。

（主な取り組み）

○体力づくりへの意欲向上

- ・伊方町学校体育会にて、小学校球技大会、陸上運動記録会を毎年実施している。

○運動部活動の存続施策

- ・町内中学校では全員部活動制を取っており、中学生はいずれか部活動に所属する事になっている。
- ・令和6年度より部活動に拠点校方式を採用し町内他校の生徒も希望する学校の部活動に入部可能とし、学校間の送迎は町がバスを運行している。
- ・既存の部活動以外のスポーツを希望する生徒のために、令和7年度から町の認定を受けたスポーツクラブに所属する生徒は、部活動に所属しなくてもよい事としている。

(2) 生涯にわたりスポーツを楽しむことができる環境づくり

ライフステージに応じた多様なスポーツ活動が実践できるよう、各種スポーツ大会参加の補助の実施、親子や家族がそろって参加できるボッチャ、モルック等の軽スポーツの普及やスポーツイベントの開催等に取り組んでいる。

また、町立スポーツ施設の整備・充実を図り、町スポーツ推進委員や町スポーツ推進員と協力し、佐田岬マラソンやスポレク祭、駅伝等を実施するなど、スポーツに関心を持ち、活動しやすい環境づくりにも取り組んでいる。

（主な取り組み）

○多様なスポーツ活動実践への支援

- ・各種スポーツ大会の参加補助

- ・スポーツ少年団の育成支援（6団体）
- ・伊方町のホームページや広報誌を通じた情報提供

○スポーツやレクリエーションを気軽に楽しむ機会の提供

- ・各地域でのスポレク祭や駅伝等の開催
- ・佐田岬マラソンの開催
- ・学校やスポーツ少年団、スポーツ協会に対する施設使用料の減免など

○地域でスポーツを支える人材の養成、活用

- ・スポーツ指導者の資格取得・更新に対する補助

○町立スポーツ施設の充実

- ・町立スポーツ施設の機能強化
 - 1) 指定管理者制度の導入、各種スポーツ教室の実施（伊方スポーツセンター）
 - 2) 施設設備の修繕等
 - 3) 地域体育館の照明設備の LED 化、空調設備の導入
 - 4) 町民グラウンドの改修
 - 5) トレーニング器具の整備（スポーツ振興くじ助成金を活用）

(3) プロスポーツ選手等との交流を通じ、競技力を高めることができる環境づくり

各種プロスポーツ選手等と競技を通じて交流を図ることで、競技力の向上に取り組んでいく。またトップレベルの競技をみる機会を提供することで、スポーツに対する関心やモチベーションの向上に努めている。

（主な取り組み）

○プロスポーツ選手等との交流

- ・岡山シーガルズのバレーボール教室開催
- ・愛媛マンダリンパイレーツの選手が町内スポーツ少年団の指導（野球）
- ・愛媛 FC の選手が町内小学校でサッカー指導
- ・愛媛オレンジバイキングスが町内スポーツ少年団の指導（バスケットボール）
- ・世界陸上出場選手等を招いて町内小学校のスポーツ教室開催（愛媛県講師派遣事業を利用、ハードル、やり投げ、100m）

○ トップレベルの競技をみる機会の提供

- ・愛媛 FC 伊方町の日（試合観戦）
- ・愛媛オレンジバイキングス伊方町の日（試合観戦）
- ・町施設での佐田岬カップの開催（中学生バレーボール愛媛県大会、テレビ愛媛共催）

2. 現状団体において抱えられている課題

(1) 体力づくりの推進

○体力づくり活動の推進

- ・本町の小学生及び中学生の運動能力は、全国平均と比べて高い傾向があるが、小学生は「朝食を毎日食べる」割合、中学生は「体力向上についての目標を設定している」割合が低い傾向
- ・日常的に運動をする子どもとしない子どもの二極化○運動部活動の充実
- ・指導内容の高度化、専門化への対応
- ・専門指導者のいない学校の増加
- ・生徒のニーズの多様化への対応

○地域部活動の推進

- ・生徒数の減少に対する既存の部活動存続への対応
- ・学校・地域・各種スポーツ団体との連携体制の構築
- ・専門指導者の不足
- ・平日と休日の一貫指導のための協力体制の構築

(2) 生涯にわたりスポーツを楽しむことができる環境づくり

○地域部活動の育成支援

- ・地域部活動の推進に向け、受け皿となるクラブの指導者や施設の不足、クラブと学校や地域をつなぐ連携・協力体制の構築

○スポーツやレクリエーションを気軽に楽しむ（する・みる）機会の提供

- ・新しい生活様式下での開催方法、参加者の確保
- ・多様な事業展開のための財源確保

○町立スポーツ施設の活用

- ・施設設備の計画的な修繕等のための財源確保
- ・施設備品の計画的な更新のための財源確保
- ・老朽化した施設の利活用及び解体の財源確保

(3) プロスポーツ選手等との交流を通じ、競技力を高めることができる環境づくり

○交流参加者の確保

- ・若年競技者の育成・確保
- ・競技者のニーズと交流するプロ選手等とのマッチング
- ・参加人数減少による事業の費用対効果の見極め

3. 第4期計画において期待すること

(1) 体力づくりの推進

○環境整備

- ・子どもたちが、楽しんで運動することのできる場所の確保や指導員等の充実

○運動部活動の地域展開の推進

- ・地域で運動部活動を支える体制づくりへの支援

(2) 生涯にわたりスポーツを楽しむことができる環境づくり

○地域スポーツクラブへの支援

- ・地方にあるクラブの運営には都市部と比較して指導者の確保や施設の充実など地方特有の課題が多いことから、これらの負担を和らげるための施策

○ライフステージに応じたスポーツ活動に取り組める環境整備

- ・多様な事業を展開できるよう、スポーツ振興くじ助成金事業の継続

(3) プロスポーツ選手等との交流を通じ、競技力を高めることができる環境づくり

○市町村への指導者派遣等の支援

- ・指導者派遣事業の継続
- ・自治体・スポーツ団体等による派遣事業に対する国からの支援の継続